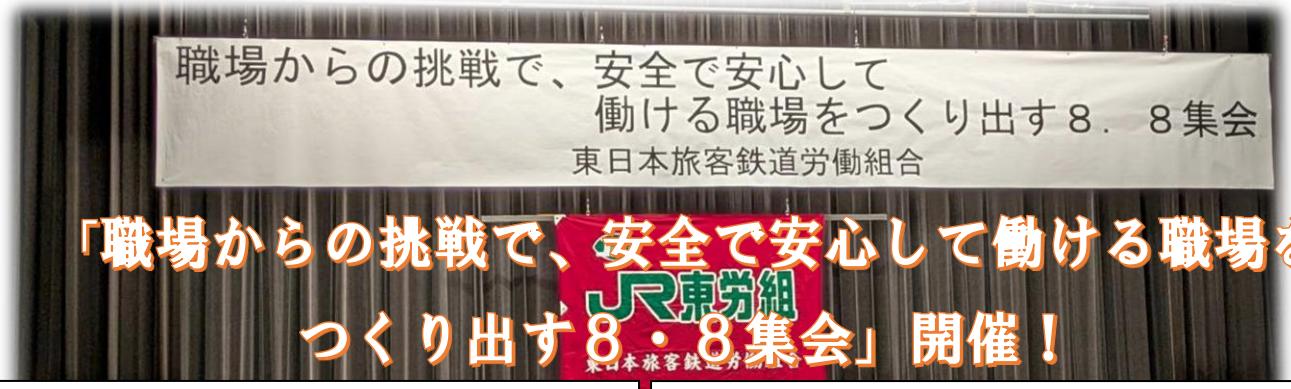
HACHIOJI
JR東労組八王子地本
発行責任者
野中 広俊
2025／8／8
No.7



「職場からの挑戦で、安全で安心して働ける職場をつくり出す８・８集会」開催！

福知山脱線事故から２０年・・

２００５年に発生した事故から２０年となります。実際に現地に立つことで緊張感が伝わり事故の凄惨さを知ることができた。と現場に立った組合員より報告がありました。

私たちの職場はどうでしょうか、「ハザードの除去」とし懲罰的日勤教育がおこなわれていないでしょうか。JR 東日本の企業体質も JR 西日本と変わりません。まさに「福知山脱線事故前夜」と言わざるをえません。

新幹線分離事故原因究明委員会

２０２３年に新幹線事業本部長より「新幹線を遅らせない、止めない」「稼ぐことにこだわる」というメッセージが出てから２度の列車分離、電線下垂など大規模事象が止まりません。９月の分離事象（Z12 編成）に搭載装置を一時的に乗せ換えた Z7 編成が３月の分離事象を発生させたこと、メーカー推奨耐用年数を経過して使用していたことが判明しました。安全より運行優先になっていませんか？？

大宮支社による「不当労働行為」

大宮地本管内では管理者から組合員に対する不当労働行為が横行しています。

面談の中で複数の副長が「組合激熱ですか？」「あっちの方はどうですか？」「東労組のバックには日本を転覆させる組織がある」となど発言しました。

その後の報告において・・　発言を認めた副長→処分　　認めず虚偽の報告をした副長→不問

正しい報告をしないのは管理者であります。隠蔽する風潮が蔓延し社員の分断が広がれば安全風土は崩壊します。

八王子地本　野中委員長の発言

提案された新しい人事施策について・・

安全は長年の経験から築かれるものですから無事故表彰は堅持するべきです。

施策を悪用し組合員への差別や脱退慫慂はおこなわれると思います。社員間の分断をうみ出す能力昇給には反対です。

組織再編により八王子事業本部は八王子・山梨・立川・武蔵野・大宮・栃木・熊谷の各事業本部の労使間窓口となります。大宮にも労使間窓口を置くべきです。

人間はミスをする生き物です。そんな時こそ責任追及ではなく原因究明ではないでしょうか。今の企業体質は責任追及でまさに「国鉄時代の残滓」といえます。管理者による不祥事、隠ぺい、脱退慫慂が続いています。今後評価昇給になるとき正しい評価ができるのでしょうか？？

「会社のチェック機能」である東労組に今こそ結集し、働きやすい職場をともに作っていこう！